

平成 27 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ビー・エム・エル  
代表者名 代表取締役社長 近 藤 健 介  
(コード番号: 4694 東証第一部)  
問合せ先 取締役常務執行役員 山 下 勝 司  
(TEL 03-3350-0111)

## 第 6 次中期経営計画 (2015-2017) 策定のお知らせ

当社グループは、この度、2015 年度から 2017 年度までの 3 カ年を対象とする第 6 次中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 第 5 次中期経営計画 (2012 年度～2014 年度) の総括

第 5 次中期経営計画では、「Quality Leading Company」のビジョンのもと、全社品質・信頼性の向上をコンセプトとして、全社品質向上の実現、「K A I Z E N 活動」の推進、人材の育成の 3 つのテーマに取り組み、全社品質と信頼性の向上について一定の成果をあげることができました。

数値目標については、以下にお示しのとおり、売上高については、新規取引先の拡充と M&A 効果により目標を達成し、「1,000 億円企業」となることができました。利益面については、最終年度である 2014 年度において、消費税増税に伴う患者の受診控え、同業社間の価格競争の激化などにより価格下落があったことや、のれん代償却の負担が増加したことなどにより、目標未達となりました。

(単位:百万円)

	2014年度 中期経営計画	2014年度 実績	差異	達成率
売上高	102,000	104,404	2,404	102.4%
営業利益	8,100	6,974	-1,126	86.1%
営業利益率	7.9%	6.7%	—	—
経常利益	8,300	7,527	-773	90.7%
経常利益率	8.1%	7.2%	—	—
当期純利益	4,400	3,874	-526	88.0%

### 2. 第 6 次中期経営計画の概要

#### (1) BML グループビジョン

受託臨床検査業界を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中で、BMLグループでは、『医療界に信頼され選ばれる企業をめざす』をグループビジョンとして掲げます。

当社は、おかげさまで本年7月に会社設立60周年を迎えます。60周年の節目の年に、これからの新たな企業創生に向けてスタートを切るに際して、これまで以上に医療に近いポジションを確立し、社員がやりがいとプライドを持てる企業に育てていきたいという思いをこめたビジョンであります。

## (2) コンセプト・テーマ

第6次中期経営計画のコンセプトを「業界トップ企業としての基盤構築と強化」とします。テーマを「品質・サービスの向上」とし、営業基盤の強化、検査基盤の拡充、システム基盤の再構築を行ないます。また、これらを支えるものとして人材基盤の充実を今中計の最重要課題と位置づけて取り組んでまいります。さらに、マネジメント品質ならびに機能の強化を行なうことで、業界トップ企業としての基盤構築を強固なものにいたします。

## (3) 事業別戦略

### <臨床検査事業>

#### 「営業基盤の強化」

##### ・「ラボネットワーク戦略の推進」

地域ラボでの検査項目を拡大し、結果報告の迅速化に努めるとともに、各地域で分離ラボを新設し、検査精度の一段の向上を図ります。

##### ・「地域戦略の推進」

全国の地域毎の状況を分析し、経営資源の適正配分を行なうとともに、地場センター、医師会センターとも連携の強化を図ってまいります。

##### ・「首都圏ラボの強化」

これまで整備を行なってきた首都圏ネットワークを活かしたサービスの充実を推進します。

##### ・「営業品質の向上」

トラブル・クレーム対応の迅速化を図るとともに、コールセンター機能の充実を図ります。また、顧客との重要な接点である集配体制についても強化いたします。

#### 「検査基盤の拡充」

##### ・「効率化・自動化の推進」

当社の得意分野である効率化・自動化をさらに進めてまいります。次世代免疫検査について、今中計において設備の更新を行なってまいります。また細菌検査については、今後も検査数の増加が見込まれることから順次自動化を行います。搬送ラインについても刷新の検討に着手し、これらによって、より高品質で効率的な検査体制の構築をめざします。

- ・「検査品質の向上」

インシデントの分析によるトラブルの未然防止や、トラブル事例の原因対策の共有化によりトラブルの撲滅を図ってまいります。インフォメーション機能の強化についても、コールセンターの拡充とともに、診断につながる有益な検査情報を提供できる体制造りの検討を行なってまいります。

- ・「新規検査項目の開発」

先端技術開発本部を中心に、ゲノム関連、メタボロミクス関連、プロテオミクス関連の新規検査項目の開発に注力するとともに、他社への外注検査項目についても内製化の検討を進めます。

### 「システム基盤の再構築」

- ・「基幹システムの再構築」

メインサーバーが更新時期を迎えることから、システム全体のグランドデザインの検討と各部門システムの見直しを行なってまいります。

- ・「IT 武装化の推進」

顧客向けシステムである Web 照会システムの刷新や検査システムの機能追加にも着手し、見直しを行ないます。社内向けシステムでは営業系システムのスマートデバイス化の検討を行ないます。

- ・「システム品質の向上」

システム稼動前のレビュー強化や、テスト運用の徹底によりトラブル撲滅を図るとともに、ライセンス管理や、セキュリティー管理についても強化します。

### <医療情報システム事業>

- ・「販売戦略の強化」

代理店による間接販売も含め、新規開業情報の入手に注力いたします。あわせてアプローチ先へのデモンストレーションの実施に努め、新規獲得を推進します。

- ・「顧客満足度の向上」

顧客要望に沿った新機能の追加を行なうとともに、ASP 版電子カルテについても地域連携の状況もふまえ検討を進めます。

- ・「サービス品質の強化」

インストラクターによるサポート体制を充実させるとともに、問い合わせやトラブル対応の強化を図ってまいります。また、営業マンへの研修を徹底し、営業品質の向上にも努めてまいります。

<食品衛生事業>

・「営業力の強化」

食品表示偽装や、異物混入問題等により食の安全への関心が高まる中で、これら検査への取り組みを強化します。

・「検査の効率化」

点検作業や役割分担の見直しによる効率化を進めます。また、腸内細菌検査の自動化を進めます。

・「サービスの向上」

点検報告書のWeb化を進めるなど、顧客ニーズの多様化に対応します。点検業務では、不備の指摘に対し、解決策の提案が出来る問題解決型の営業を展開します。

・「品質の向上」

内部監査、外部監査の継続実施による精度向上を図ると同時に、点検業務にトレーナー制度を導入し、品質の均一化を図ります。

「人材基盤の充実」

これらの事業を支える重要な要素が人材基盤です。今中計では人材基盤を充実させるために、「教育体系の整備」と「人材の活性化」を中心に、人材の育成強化を進めてまいります。また、「人材の多様化への対応」のため、高齢者や女性の活用についても検討を進めます。

「マネジメント品質ならびに機能の強化」

事業基盤の強化を行なううえで、マネジメント品質ならびに機能の強化が重要であり、「コスト競争力の強化」、「職場環境の改善」、「適切な労務管理」、「グループ連携の強化」、「KAIZEN活動の推進」、「海外事業の展開」の観点から品質と機能強化を推進してまいります。

(単位:百万円)

	2015年度			2016年度			2017年度		
		前期比			前期比			前期比	
<b>売上高</b>	<b>106,500</b>	2,096	2.0%	<b>108,500</b>	2,000	1.9%	<b>110,900</b>	2,400	2.2%
<b>検査事業</b>	<b>101,350</b>	1,968	2.0%	<b>103,230</b>	1,880	1.9%	<b>105,710</b>	2,480	2.4%
臨床検査事業	97,270	1,843	1.9%	99,060	1,790	1.8%	101,420	2,360	2.4%
その他検査事業	4,080	125	3.2%	4,170	90	2.2%	4,290	120	2.9%
<b>医療情報システム事業</b>	<b>3,730</b>	123	3.4%	<b>3,880</b>	150	4.0%	<b>3,790</b>	-90	-2.3%
<b>その他事業</b>	<b>1,420</b>	7	0.5%	<b>1,390</b>	-30	-2.1%	<b>1,400</b>	10	0.7%
<b>営業利益</b>	<b>7,100</b>	126	1.8%	<b>7,900</b>	800	11.3%	<b>8,850</b>	950	12.0%
営業利益率	6.7%			7.3%			8.0%		
<b>経常利益</b>	<b>7,550</b>	23	0.3%	<b>8,400</b>	850	11.3%	<b>9,350</b>	950	11.3%
経常利益率	7.1%			7.7%			8.4%		
<b>当期純利益</b>	<b>4,300</b>	426	11.0%	<b>5,000</b>	700	16.3%	<b>5,600</b>	600	12.0%
当期純利益率	4.0%			4.6%			5.0%		
<b>自己資本利益率(ROE)</b>	<b>7.08</b>	0.31		<b>7.80</b>	0.72		<b>8.22</b>	0.42	